

15-f 思春期のヘルスケア

国立公衆衛生院

林 謙 治

思春期の年齢での死亡率と罹病率がそれ以前の乳幼児、学童期に比べて低いこと、および妊娠中と乳幼児、学童期には思春期に比べ、より明白な諸問題があるということのために、思春期の人びとの健康には従来比較的注意が払われなかった。しかしながら、保健の目的が単に死亡率の減少というだけでなく、より健康な社会生活を求めるということも包含されるわけであるから、発育発達という思春期を特徴づける一つの段階を通して生涯の健康を考えることは重要な意義を持つ。

とりわけ思春期に発生した諸問題および、この間に形成される生活様式が将来の健康に大きな影響を及ぼすこと、また学童期にすでに生じた健康問題を思春期において改善され得ることを考え合わせれば思春期におけるヘルスケアの内容が将来に向けた全国的な健康問題であることが理解できる。

思春期のヘルスニーズ

1. 発育と発達に伴うニーズ

- A 肉体的な発育、発達に関する問題
 - ・正常域における個人差の問題
 - ・病的異常のスクリーニング
 - ・性成熟に伴う諸問題の指導とカウンセリング
- B 精神心理学的な発達に伴う問題
 - ・発達課題達成への援助と指導
 - ・過去の悪習の是正

2. 栄養上のニーズと社会心理的ニーズ

- A 栄養上のニーズ
 - ・食物の適切な量と質の問題に対する指導
 - ・食行動に影響する因子の検討と歪みの是正
- B 社会心理的ニーズ
 - ・対人関係と職業技術の習得
 - ・妊娠、分娩に関する知識の習得および親としての能力の養成
 - ・社会活動への参加を通じて社会人としての成員意識を育成

ヘルスケアの実施に先立ち、必要とされる基本的なヘルスニーズについて考えると、表に掲げた如く発育と発達から生じる固有な問題をベースに、これらを援助、解決する栄養上のニーズ、社会心理的ニ

ーズのほか、社会病理現象として出現する暴力、自殺、妊娠をはじめとする特殊なニーズを含むものでなければならない。

ケアの内容は広汎にわたりまた思春期の人々に受け入れられるものであることが必要であるので、あらゆる水準の人々の協力なしには実現し得ない。しかるにわが国ではヘルスケアの概念およびそのための組織作りの技術は、いまだに普及していない中で実際上の活動は基だ制限されざるを得ない。

従って、各分野の関係者が社会の変化に注目しつつ、本格的なヘルスケアに踏み出す第一歩として、学習活動からはじめることが重要であると考えらる。

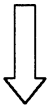
3. 特殊なニーズ

- ・家出、事故、自殺、薬物中毒、妊娠、暴力等に対するサービスシステムの充実化
- ・心身障害者に対するケアの問題



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



思春期の年齢での死亡率と罹病率がそれ以前の乳幼児,学童期に比べて低いこと,および妊娠中と乳幼児,学童期には思春期に比べ,より明白な諸問題があるということのために,思春期の人びとの健康には従来比較的注意が払われなかった。しかしながら,保健の目的が単に死亡率の減少というだけでなく,より健康な社会生活を求めるということも包含されるわけであるから,発育発達という思春期を特徴づける一つの段階を通して生涯の健康を考えることは重要な意義を持つ。

とりわけ思春期に発生した諸問題および,この間に形成される生活様式が将来の健康に大きな影響を及ぼすこと,また学童期にすでに生じた健康問題を思春期において改善され得ることを考え合わせれば思春期におけるヘルスケアの内容が将来に向けた全国民的な健康問題であることが理解できる。